

ユニホーム全面刷新

おしゃれな街に調和



デザイントラックを背景
に社員モデルがポーズ

モチベ向上と人材確保へ

萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）はユニホームを全面リニューアルし、10月31日に本社でお披露目会を開いた。社員モデルが安全性・機能性・デザイン性を兼ね備えた新ユニホームを着用し、デザイントラックを背景に様々なポーズで写真撮影に臨んだ。ユニホーム刷新で社員のモチベーションアップと人材確保に弾みを付ける。撮影した写真はユニホームデザイン会社のカタログにも使用される予定だ。

（吉田英行）

萬運輸

新ユニホームは現場職・事務職の全社員共通。落着きのある紺色をベースに、胸ポケットのステッチや身体サイド部分にコーポレートカラーの一つであるオレンジ色をアクセントとして入れた。ファスナーは金色とし、さりげなく高級感を出している。

夜間作業時の視認性を高めるため、反射材を取り付けて安全性を向上。動きやすさも重視し、伸縮性の高い生地を採用した。ファスナーは首元までしっかり閉じられるフルジップタイプとなっている。